

令和4年度 特色ある道徳教育推進校

八千代市立睦中学校

研究主題

「き（聴・訊）き合い・学び合う教室づくり」
～一人一人の学びを保障する授業・質の高い学びを目指して～

取組1 き（聴・訊）き合い・学び合う教室づくり

工夫1 学び合う教室づくり

- ① 「コの字」型の机の配置
- ② 互いの意見を聴き合う場面を作る
- ③ 1人で取り組むのではなく、ペアやグループで協同して学ぶ
- ④ ペアやグループで一つの意見にまとめるのではなく、一人一人が意見をもつようにする



工夫2 生徒主体の活動づくり

- ① 道徳を学ぶ目的（意義）を明確にする
- ② 題材の価値を吟味し、身につけたい力（到達目標）を明確にする
- ③ 「すべての生徒が目をは輝かせて学ぶ課題＝協同的な学びが生まれる質の高い課題」を設定する
- ④ すべての生徒が取り組める学習材を用意する



工夫3 全職員が年6回の授業研修を実施

- ① 理想とする授業の形を全職員で共有する。
 - ・ 指導案検討
 - ・ 模擬授業
- ② 焦点授業の授業者を決め、全員で授業を参観する。
 - ・ 年6回の研究の中で全員が焦点授業を行い、11人の講師から授業評価を受ける。
- ③ 学びに参加できない生徒への対応を全職員で考える。
 - ・ 授業後、分科会、講師による全体研修会を実施。



取組 2 学校教育全体を通した取組

ESD教育と関連した実践

- ・地域との連携・海外の学校との交流等をととした持続可能な開発のための教育(E S D)

地域連携

里山保全活動

地域福祉事業 参加



学区内里山保全活動に参加



有志生徒による合唱披露

中学校通学路 美化活動

JRC (青少年赤十字)



学校、家庭、地域の協力の基に清掃活動を実施



学校共通授業で実施

国際交流

シンガポールの中学生とオンライン交流



シンガポールの中学生との交流を年2回実施。お互いの国の文化や学校の様子を紹介。

主な成果と課題

- 道徳の授業実践を通して、生徒が協同する学びに取り組み、誰に対しても自分の意見を述べ、相手の意見を聴くことができるようになった。
- グループになってから、意見を出し始めるまでの時間が短く、途切れることなく対話が続くようになった。
- 誰とでも対話ができるため、話が脱線してしまい、予想していた生徒の反応と違った方向に進んでしまうことがある。
- 意見が出ない、解決できない時に我慢強く課題と向き合うことや、自分で深く考えることをせずに、すぐに人に頼ってしまう場面が見受けられる。

授業実践事例

1年A組道徳科学習指導案

日時 令和5年1月30日(月)

1 主題名 働くことの尊さや意義 「C—(13) 勤労」

(「新しいプライド」 「東京書籍 新しい道徳1」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

本主題は、中学校学習指導要領特別の教科 道徳 内容項目C—(13)「勤労」の「勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考え方を深め、勤労を通じて社会に貢献すること」を受けている。

中学生になると、社会の一員として自分の役割や責任の自覚が芽生えるとともに、他者と関わり、様々な葛藤や経験の中で、自分の人生や生き方への関心が高まり、自分の生き方を模索し、夢や理想をもつようになる。一方で現実的に進路を迫られるようになる時期でもある。自身の将来の生き方について考えるとき、自分の務めとは何か、将来就きたい職業について考えることは人生において重要な位置を占めており、一人一人がその尊さや意義を理解し、考えを深めていくことが大切である。近い将来、社会に出ていく生徒たちが、現段階から勤労の尊さを重んじる意識を基に、社会における自らの役割や生き方について考えさせたいと考え、本主題を設定した。今後のキャリア教育、次年度の職業体験や2年後の進路選択にもつなげていきたい。

(2) 児童生徒の実態について (男子16名、女子11名 合計27名)

互いのよさや行動を尊重しながら、前向きに学校生活を送っている。係活動や委員会活動においても、それぞれの役割を全うし、周りがそれらをサポートする姿も見受けられる。生徒たちには、自分自身の役割や仕事に誇りを持って取り組むこと、そして他者や社会へ貢献することが、自らの喜びや充実感につながるということに気付かせ、よりよい勤労観を育んでいきたい。

(3) 資料について

本教材は、新幹線車両清掃員として働く女性の仕事に対する思いが書かれており、その思いに触れることで働くことの尊さや意義について考えさせることができる。「私」は60歳を過ぎて新たに新幹線の車両清掃のパート始める。掃除自体は嫌いではなかったが、家族にも「新幹線の清掃」の仕事をしていることを嫌がられ、自分自身でも仕事に対して人様に誇れるものではないと感じ、誰にも知られたくないと思っていた。しかし、実際に働いてみると、清掃だけではないやりがいが見えるようになっていく。そんなある日、親戚に自分の仕事を見られ、恥かしさを覚えたが、その後、その親戚から「あんなに立派な仕事をしているなんて思わなかった」という電話が来たことから、自分の仕事に誇りを持つようになり、意欲的に仕事をするようになるという話である。周りの目が気になって自分の行動に誇りが持てないことは生徒の経験の中にも少なからずあるだろう。「私」の仕事に取り組む姿とその心境の変化について理解を深め、働くことの尊さや意義に気付かせながら、将来の生き方について考えさせることのできる教材である。

(4) 指導観

車両清掃の仕事を通して、「私」が働くことへの「誇り」を実感し、自身の仕事に対する気持ちに変化していく場面に着目させたい。そのために清掃の仕事が始めたころの人に知られたくない恥ずかしい気持ちと、仕事のやりがいを感じている気持ちの両面についてとらえることで、働くことについての多面的、多角的な考えを引き出していく。そして、「私」の発言から、勤労を通して得られる充実感や達成感に気付かせたい。生徒の学習状況を見とるために、ワークシートを主に活用していく。

3 本時の指導

ねらい 勤労の尊さや意義についての理解を深め、社会における自らの役割や将来の生き方について考えようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

4 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問・予想される生徒の反応 (○基本発問・◎中心発問●補助発問)	・支援の手立て・留意点(◇評価)	資料
導入	5分	1 「働くこと」の理想を共有する。 ○誇りをもてる仕事と誇りをもてない仕事は何が違うのだろうか。 ●誇りをもてる仕事を書きましょう。 ●誇りをもてない仕事を書きましょう。 ・安定して働ける。・高い収入が得られる。・人を傷つける仕事	・自由に発表させることで和やかな雰囲気を作る。終末で振り返られるよう簡潔に板書する。	ワークシート
展開	前段 2 0 分	2 資料を読み気持ちの変化について考える。 ●嫌いじゃないなら恥ずかしくないのは。 ・仕事を楽しんでいるところを見つけたり、家族から嫌がられると思ったから。・やりがいのある仕事だと思い始めていたから。 3 「私」の働くことに対する思いを考える。 ◎私が「捨てたプライド」と「得た新しいプライド」とはどのようなものだろうか。 ・仕事を誇れるようになっていたから。・人目を気にせず、自信をもって働けるようになったから。	・「そんな仕事」「ばれないように」という言葉に注目させることで恥ずかしく、誇りがもてていないことをおさえる。・補助発問によって掃除が嫌いではないことに気付かせる。 ・仕事の楽しさややりがいを感じ出した気持ちの変化をおさえる。	ワークシート
	後段 1 5 分	3 働くことの尊さや意義について考える。 ○仕事をする上で大切なことは、どのようなことだろうか。ものだろうか。 ●はじめに聞いた、仕事を考えるとき大切にしたいことについての考えと比べてどうですか。 ・お金を稼ぐこと以外にも大切なことがあると思った。・何を言われても、人のために役立つ仕事、やりがいのある仕事もいいなと思った。	・グループで考えを聞き合うことで私にとっての「プライド」の意味をとらえられるようにする。 ◇働くうえで大切なことを自分なりにもつことができたか。	ワークシート
終末	1 0 分	5 本時のまとめをする ●学んだことをワークシートにまとめる。・教師の説話を聴く	◇自分自身を見つめ、よりよい将来の生き方について具体的に考えることができたか。	ワークシート